

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
人間社会科学	人間社会科学	1. 各領域の専門的知識・専門的スキルと幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたることができる。
	健康・行動科学コース	1. 人間の心身の健康や行動に関する領域において、高度な学術的理論および専門的知識・研究法を身につけている。 2. 専門的知識や理論、および、人間と社会に関する学際的な知見に基づいて、人間や地域が抱える健康に関する諸問題を学術的側面から理解することができる。	3. 健康に関する諸問題を解決するために、必要なデータを収集し、専門的な研究手法と学際的知見に基づいて分析し、論理的に結論を導き出すことができる。 4. 人間の多様な行動の仕組みやその変容を促す技法、さらには、心身の健康に関する諸問題について独自の研究課題を設定し、探求することができる。	5. 地域および現代社会における諸問題に対して、学際的な視点に立って、多様な人々と協働して、応用・実践的に解決することができる。 6. 専門的知識や研究成果を積極的に社会に還元する態度を有し、未来社会の創成を先導することができる。 7. 地域および現代社会の諸問題について、身につけた専門的知識・専門技能に基づき、その解決策を多様な人々に適切に提言をすることができる。
研究科共通科目	人間社会科学特論	◎	○	○
コース間連携科目	インターディシプリナリー・コミュニケーション・セッションI・II	○	○	◎
	他専攻・他コースの専門科目	◎		○
社会実践科目	(科目名省略)		○	◎
コース基盤科目	健康・行動科学基礎論	◎		
コース専門科目	健康科学特論 I	◎	○	
	健康科学特論 II	◎		
	食品機能・加工学特論	◎	○	○
	臨床・社会・環境医学と高度情報学・数学の接点	○	◎	
	心理学特論 I	◎		
	心理学特論 II	◎		
	健康科学特別演習 I A	◎	○	
	健康科学特別演習 I B		◎	
	健康科学特別演習 II A		○	◎
	健康科学特別演習 II B			◎
	精神保健学特別演習 I A	◎	○	
	精神保健学特別演習 I B	○	◎	
	精神保健学特別演習 II A			◎
	精神保健学特別演習 II B			◎
	心理学特別演習 I A	○	◎	
	心理学特別演習 I B		◎	
	心理学特別演習 II A		◎	○
	心理学特別演習 II B		○	◎
研究指導科目	健康・行動科学演習 修士論文	○	◎	◎